

○一般社団法人 日本森林学会 2020年度第4回(通算第475回)理事会・連携学会長合同会議 議事録

日時：2020年12月16日(水) 13:00~17:30

場所：日林協会館3階大会議室，Web会議システム(Adobe Connect)を併用して開催

開催者：丹下 健

出席者：(会長)丹下 健，(副会長)深町加津枝，(正木 隆，理事)玉井幸治，柿澤宏昭，土屋俊幸，松本麻子，井上真理子，枚田邦宏，井鷲裕司，高山範理，田中 浩，黒田慶子，船田 良，大久保達弘，横井 秀一，梶本卓也，小島克己，太田祐子，(監事)駒木貴彰，戸丸信弘，(連携学会長)嶋瀬拓也，立川史郎，奥田史郎〔代理〕，肘井直樹〔代理〕，徳地直子，光田 靖〔代理〕，(主事)南光一樹，山田祐亮，滝 久智，吉藤奈津子，坂下 涉，長倉淳子，松本 武，山崎理正，永野聡一郎，竹内啓恵，水内佑輔，今村直広，杉浦克明，(編集部)町田庸子〔学会誌刊行センター〕，(事務局)稲村崇子，(オブザーバー)赤羽 元〔林野庁〕，近重朋晃〔全林試協〕

議長：丹下 健

会場及びWeb会議システム(Adobe Connect)にて出席者全員が問題なく参加できており，出席者が適時的確な意見表明が互いにできることを確認し，議案の審議に入った。

審議事項：

本理事会で議論・決定された事項は以下のとおりである。

1. 第132回大会(東京農工大)における学会企画

松本主事(企画担当)より，学会企画として応募の合った6件(ダイバーシティ担当2件，国際交流担当1件，学協会連携担当1件，中等教育連携推進担当1件，企画担当1件)の内容，開催日時，実施形式が報告され，学会企画として進めてよいか提案された。開催日時と実施形態について議論が交わされ，提案のとおり承認された。

2. JFR掲載済み特集の書籍化についての許可申請

伊藤理事の代理として吉藤主事(JFR編集担当)より，会員から要望のあった特集号の書籍化にかかる許可申請への対応について提案された。引用のあり方，著作権，学会収入の3面で学会の利益を失わない対応が必要であることが確認された。今後，契約のための条件を具体化してから，改めて理事会で審議することとなった。

3. 主事の委嘱

松本理事より，森林科学編集担当の長倉淳子主事が2020年3月31日をもって退任するため，後任として星野大介会員(森林総合研究所)に委嘱することが提案され，提案のとおり承認された。

4. 2021年度学会各賞受賞者の決定

表彰委員会，JFR編集委員会，日林誌編集委員会での選考結果と受賞候補者が井鷲理事，伊藤理事，正木理事からそれぞれ報告された。審議の結果，日本森林学会賞を伊藤 哲会員(宮崎大学)，

大橋瑞江会員（兵庫県立大学）に、日本森林学会奨励賞を後藤栄治会員（九州大学）、久野真純会員（東京大学）に、日本森林学会学生奨励賞を中山理智会員（投稿時：京都大学、応募時：京都大学）、執行宣彦会員（投稿時：東京大学、応募時：森林総合研究所）に、日本森林学会功績賞を大石康彦会員（森林総合研究所）、篠原健司会員（理化学研究所）に、それぞれ授与することを決定した。また、JFR 論文賞を Takashi Masaki, Shin Abe, Shoji Naoe, Shinsuke Koike, Ami Nakajima, Yui Nemoto, Koji Yamazaki による論文（25 巻 2 号 92-100 頁）に、日本森林学会論文賞を山本伸幸による論文（102 巻 24-30 頁）、山田亮による論文（102 巻 69-76 頁）にそれぞれ授与することを決定した。

第 132 回大会における学生ポスター賞の選考委員会が提案され、提案のとおり承認された。学生ポスター賞の応募は 151 件で、16 名へ学生ポスター賞を授与予定であることが報告された。

5. 前回までの議事録

2020 年度の第 3 回（通算第 474 回）理事会、2 回のメール理事会（第 5 回、第 6 回）の議事録が承認された。

6. 次回理事会の開催

次回の理事会は、2021 年 4 月に開催することが承認された。

報告事項：

本理事会で報告された事項は以下のとおりである。

1. 第 132 回大会（東京農工大学）の準備状況

土屋理事（大会担当）から、公開シンポジウムの準備状況について報告された。

梶本理事（プログラム編成担当）から、発表申し込み件数（総計 660 件）、大会のタイムテーブル案について報告された。木材学会との合同大会であることから、森林学会だけでなく木材学会の大会スケジュールも見えるようにしてほしいという提案があった。大会学術講演集の参加者への配布は、PDF ファイルにて行うことを確認した。

太田理事の代理として杉浦主事（中等教育連携推進担当）から、高校生ポスター発表の申込件数（31 件）、高校生ポスター発表実行委員を組織したこと、高校生ポスター企画、丹下会長への高校生ポスター賞選考委員会及び表彰式への参加依頼について報告された。高校生ポスター企画で用いる各大学の授業や実習の様子の紹介動画のための写真提供が理事会メンバーに依頼された。

2. 連携学会からの報告

各連携学会の会長または会長代理から、役員体制、総会・大会の開催、刊行事業、表彰制度、会員数の動向、財政状況等の報告があった。コロナ禍により中止またはオンライン開催となった連携学会大会の様子が報告された。

3. 総務担当からの報告

玉井理事より、日本農学会「総会・日本農学賞選考会」の開催、第 133 回大会（東北地区）の準備状況、1 件の共催・後援・協賛依頼の承認、会員動向について報告された。次回の理事会において、第 134 回大会（関西地区）の大会運営委員長、開催機関の応用森林学会からの推薦、第

135 回大会の開催地区の決定を行うべく、準備している。

4. 会計担当からの報告

柿澤理事より、第 131 回大会（名古屋大学）会計収支の決算について報告された。

5. 日林誌編集担当からの報告

正木理事より、論文賞の選定、第 103 巻表紙写真の応募状況（4 件）について報告された。論文に使用されたデータに DOI をつけて公開するサービスである J-STAGE Data のパイロット運用に、日林誌も協力することが報告された。

6. JFR 編集担当からの報告

伊藤理事の代理として吉藤主事及び町田編集部より、出版状況、特集号 3 つ分の進捗（掲載予定 1, 原稿募集中 1, 掲載延期 1）、論文賞の選考状況について報告された。編集員の交代の時期を日林誌に合わせて 5 月末に変更する予定があること、Invited review の執筆者を募集していることが報告された。

7. 森林科学編集担当からの報告

松本理事の代理として坂下主事より、発行状況、誌面リニューアルについて報告された。第 474 回理事会で報告された執筆ガイドラインの改定に基づき、森林科学投稿規定・執筆要領を改定することが報告された。

8. 広報担当からの報告

井上理事より、委員会開催、メールマガジンの発行状況、ウェブサイトのシステム更新の検討、ウェブサイトの更新記録について報告された。古くなったシステムを改善するため、ウェブサイトのサーバ移転を予定していることが報告された。

9. 企画担当からの報告

枚田理事及び玉井理事（総務担当）より、前回理事会に引き続き、臨時委員会として大学教育検討委員会を設置する計画が報告された。

10. 表彰担当からの報告

井鷲理事より、日本農学賞について会員からの推薦がなかったことが報告された。第 132 回大会の学生ポスター賞において、コアタイムを設けずチャットによる質疑応答で審査を行うこと、審査・選考終了後に大会ウェブサイトにて結果の発表を行い、受賞者にはメールで授賞の連絡をし、後日賞状を郵送することが報告された。

11. ダイバーシティ推進担当からの報告

高山理事及び竹内主事より、第 18 回男女共同参画学協会連絡会シンポジウムへの参加、第 132 回大会における託児等の補助、第 132 回大会の学会企画におけるダイバーシティ推進シンポジウム・木材学会との合同企画の開催と女性会員を中心とした情報共有イベントの開催、男女共同参画学協会連絡会運営委員会への出席について報告された。

12. 林業遺産担当からの報告

深町副会長より、2020年度の林業遺産選定について、候補の推薦数(4件)、今後のスケジュール、林野庁後援を依頼中であることについて報告された。

13. 社会連携担当からの報告

小島理事より、防災学術連携体との連携状況、日本学術会議新規会員の6名の任命拒否に関し任命拒否理由の開示と任命拒否の撤回を求める理事会声明(2020.10.9)を発出したこと、日本原子力学会からの執筆依頼への対応状況について報告された。

14. その他の報告

田中理事(学協会連携担当)より、日本森林学会編『森林学の百科事典』が2021年1月に刊行されることが報告された。

正木副会長(将来検討委員会委員長)より、将来検討委員会での議論の概要が報告された。

近重朋晃会員(全林試協)から、9月16日から12月16日に開催した森林学会と連携したセミナーについて、好評であり、次年度以降も学会と連携しつつ、テーマを変えて講習会を継続したいということが報告された。

議事録作成者：玉井幸治，南光一樹